



株式会社リコー 御中

2013年6月28日



ビューローベリタスジャパン株式会社  
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、株式会社リコー(以下、リコー)の責任において作成された「リコーグループ サステナビリティレポート 2013」および「リコー環境ホームページ」に記載される環境関連データのうち、リコーから要請のあったものに対して第三者検証を実施した。検証の目的は、環境関連データの正確性を確認し、客観的証拠に基づき検証意見を表明することである。

## 1. 検証概要

### 1) 2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)の事業活動に伴う環境負荷データ

検証対象	訪問サイト	検証手続き
リコー及び連結子会社40社の事業活動に伴う環境負荷データ(*1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーCSR 環境推進部</li> <li>リコー沼津事業所</li> <li>リコーやしろ工場</li> <li>リコー中央研究所</li> <li>Ricoh Electronics Inc.</li> <li>Ricoh Asia Industry (Shenzhen) Ltd.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーCSR 環境推進部及び訪問サイトによって策定された書類の確認</li> <li>責任者・担当者へのインタビュー</li> <li>データの計測方法に関する現場査察</li> <li>収集・報告されたデータと根拠資料との突合</li> </ul>

(\*1) 対象とした環境負荷データは、エネルギー消費量、温室効果ガス排出量、水使用量及び排水量、廃棄物等発生量及び処分量、VOC 排出量 である。

### 2) 2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)のスコープ3 温室効果ガス排出量

検証対象	検証手続き
リコーが販売した画像&ソリューション分野のリコーブランド製品本体の製造のための原材料及び部品調達に伴う温室効果ガス排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーCSR 環境推進部によって策定された書類の確認</li> <li>責任者・担当者へのインタビュー</li> <li>収集・報告されたデータと根拠資料との突合</li> </ul>
リコーが販売した画像&ソリューション分野のリコーブランド製品本体の生涯使用電力消費に伴う温室効果ガス排出量	

この検証は、現時点での最良の事例に基づき、ビューローベリタスが定める非財務情報報告に対する第三者検証の手順とガイドラインを使用して実施された。ビューローベリタスは、本報告書に示された範囲に対して限定的保証を行うにあたり、国際保証業務基準(ISAE)3000を参考にした。

## 2. 検証結果

### 1) 2012年度の事業活動に伴う環境負荷データ

- 検証対象とした環境負荷データについて、「リコーグループ サステナビリティレポート 2013」および「リコー環境ホームページ」に記載されている情報と、リコーCSR 環境推進部で収集された情報との間に矛盾する内容は認められなかった。
- 訪問した事業所からリコーCSR 環境推進部へ報告された環境負荷データに、重大な誤りは認められなかった。

### 2) 2012年度のスコープ3 温室効果ガス排出量

- 報告された温室効果ガス排出量が以下である証拠は認められなかった。
- 著しく正確性を欠き、温室効果ガス排出量データ及び情報を適切に表していない
  - リコーが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない